第４６号　2013（１６頁）

　　　　　金杉武司(教員)　 　　　　　　　　　脳科学と心の哲学

　　　　　鈴木仁(85期)　　　　　　　　　　　　哲学的な出会い（Part 2）

　　　　　清水友輔(116期)　　　　　　　　　　A.N.ホワイトヘッド哲学つまみ食い

　　　　　第121期卒業論文題目一覧

　　　　　哲学会賞受賞論文要旨

　　　　　第121期卒業論文講評(宮元啓一)

　　　　　研究室から(木原志乃)

第４５号　2013（１１頁）

　　　　　千田義光(教員)　　　　　　　 　　　 四二年間を振り返って

　　　　　太田貢(93期)　　　　　　　　　　　　 アフガニスタン記

　　　　　石場創一郎(106期)　　　　　　　    ときの旅―石場旅館の歴史ものがたり

　　　　　樋田麻純(博士課程前期修了)　　蘭花のエロティックス

　　　　　編集あとがき(千田義光)

第４４号　2012（２０頁）

　　　　　国分(ガイス)せつ子(81期)　 　　　　東と西

　　　　　渡辺りま(103期)　　　　　　　　　　　ギリシャ財政危機とギリシャ人の主張

　　　　　中村仁美(118期)　　　　　　　　　　最近感じたこと

　　　　　鈴木光男(120期)　　　　　　　　　　音楽家の雑文

　　　　　第120期卒業論文題目一覧

　　　　　哲学会賞受賞論文要旨

　　　　　第120期卒業論文講評(谷川渥)

　　　　　研究室から(千田義光)

第４３号　2012（１０頁）

　　　　　阿部道(4年)　　　　　　　　　　　　　東日本大震災の記憶

　　　　　内田宣央(105期)　　　 　　　 　　　東日本大震災と國學院大學～学生生活課員の立場から

　　　　　松田智裕(119期)　　　　　　　　　　京都に住んで、半年

　　　　　増田芳宣(119期)　　　　　　　　　　心の不安から学びへ

　　　　　研究室から(千田義光)

第４２号　2011（２６頁）

　　　　　小池寿子(教員)　　　　　　　　　　　「死の舞踏」の変容―キリスト教救済史観への導入

　　　　　坂田裕一(84期)　　　　　　　　　　　震災と文化

　　　　　吉満昭宏(104期)　　　　　　　　　　名古屋で学んだこと

　　　　　鶴田圭寿(107期)　　　　　　　　　　『ピアノの鍵盤数の増加と絵画史』前編

　　　　　第119期卒業論文題目一覧

　　　　　哲学会賞受賞論文要旨

　　　　　第119期卒業論文講評(木原志乃)

第４１号　2011（１０頁）

　　　　　原修子(76期)　　　　　　　　　　　　　冬の朝顔

　　　　　坂入拓司(89期)　　　 　　　　　　　  インナーゲーム

　　　　　飯島田鶴子(107期)　　　　　　　　　ジャマイカ文化紹介

　　　　　舟木健(115期)　　　　　　　　　　　　箱根駅伝と私

　　　　　研究室から(粟田義彦)

第４０号　2010（１６頁）

　　　　　池上英洋(教員)　　　　　　　　　　　 図像解釈における″視線″の利用

　　　　　越前谷悦子(76期)　　　　　　　　　　「フォン」か、「ポン」か　ギリシャ語カナ表記の問題

　　　　　遠藤利國(81期) 　　　　　　　　　　　ある約束

　　　　　鈴木基弘(115期)　　　　　　　　　　　「精神科」をめぐる雑感

　　　　　第118期卒業論文題目一覧

　　　　　哲学会賞受賞論文要旨

　　　　　第118期卒業論文講評(谷川渥)

　　　　　研究室から(谷川渥）

第３９号　2010（１２頁）

　　　　　稲熊均(90期)　　　　　　　　　　　　　　【2009年講演会】恐れの文化

　　　　　瀬戸口宣司(文76期・講師)　　　 　　【佐藤泰志特集】佐藤泰志の詩

　　　　　鴻野元希(82期)　　　　　　　　　　 　　【佐藤泰志特集】そこのみにて

　　　　　宮元啓一(教員) 　　　　　　　　　　　　【中村元賞受賞】受賞に思うこと

　　　　　研究室から(千田義光)

第３８号　2009（１５頁）

　　　　　大濱信宏(87期)　　　　　　　　　　 　　三十数年にわたる学恩

　　　　　加藤尚(98期)　　　　　　　　　　　  　　「出会う」「信頼する」「挑戦する」

　　　　　鈴木正彦(107期）　　　　　　　　　 　　高齢者介護の世界で働き始めて六年が経った

　　　　　佐藤愛(114期)　　　　　　　　　　   　　蝉のド根性

　　　　　第117期卒業論文題目一覧

　　　　　哲学会賞受賞論文要旨

　　　　　第117期卒業論文講評(木原志乃)

　　　　　追悼　宮下誠先生(谷川渥)

第３７号　2009（１２頁）

　　　　　秋吉輝雄(非常勤講師)　　　　　　　　 X’masあるいはメサイアの季節

　　　　　箕輪淑子(81期)　　　　　　　　　　  　　布づくりについて

　　　　　齋藤貴美子(115期)　　　　　　　　 　　 私の原点

　　　　　長田哲(112期)　　　　　　　　　　　 　　 『哲学科とアーティストとしての私』

　　　　　今野紗織(115期)　　　　　　　　 　 　　 すごいひと

　　 　　 近況報告

　　　　　研究室から(宮下誠)

第３６号　2008（１８頁）

　　　　　宮入博之(69期)　　　　　　　　　　  　　 好きな生き方－つれづれ考

　　　　　粟田義彦(78期)　　　　　　　　　　 　　  閑話休題

　　　　　山縣博司(86期)　　　　　　　　　　  　 　以心伝心を体感して

　　　　　加藤之晴(99期)　　　　　　　　　  　　　 誰も寝てはならぬ

　　　　　圓城寺恭子(111期)　　　　　　　　 　　 日常のオムニバス

　　　　　第116期卒業論文題目一覧

　　　　　哲学会賞受賞論文要旨

　　　　　第116期卒業論文講評(宮下誠)

第３５号　2008（１２頁）

　　　　　平井房雄(85期)　　　　　            　　 師走に思う

　　　　　内田昌宏(93期)　　　　　            　　 お酒のはなし

　　　　　泉谷裕(100期)　　　　　             　　 アメリカについて

　　　　　川口由起子(105期)　　　           　　 研究者になるまで

　　　　　石場創一郎(106期)　　　           　　 時を預かる商人

　　　　　近況報告

　　　　　研究室から(谷川渥)

第３４号　2007（２０頁）

　　　　　及川裕二(84期)　　　　　　　　　　　　　哲学科と語学

　　　　　高野昭夫(96期)　　　　　          　　  縁あってバッハの街で

　　　　　斎藤卓也(99期) 　　　　          　　　 学校とは何か？

　　　　　宮原麻貴(115期) 　　　           　　　 日々哲学

　　　　　中西真由美(115期)　  　　       　　　 大学院への道

　　　　　第115期卒業論文題目一覧

　　　　　哲学会賞受賞論文要旨

　　　　　第115期卒業論文講評(木原志乃)

第３３号　2007（１３頁）

　　　　　鶴田邦夫(66期)　 　　　　　　　　  　　 生活の中での哲学

　　　　　藤本幸男(82期)　　　　　　　　　　　　　隔世の還暦

　　　　　佐藤壽晃(84期)　 　 　　　　　　　 　　 舞台照明という仕事

　　　　　西山あゆみ(111期) 　 　　　　　　　　   Behind the Scenes

　　　　　趙可(113期)        　 　　 　　　　　　   日本－新しい人生が始まるところ

　　　　　近況報告

第３２号　2006（１６頁）

　　　　　宮元啓一(教員)　　　　　　　　　　　 　寛容の精神についての雑感

　　　　　鈴木仁(85期)　　　　　　 　 　        　哲学的な出会い

　　　　　松井順子(94期) 　　　 　            　 食欲をめぐる憂鬱

　　　　　関根智之(100期) 　　 　             　 街の本屋

　　　　　垰岡悠希(113期)　　　　　　　　　　　　ウﾞｪｰヘﾞルンを知っていますか？

　　　　　第114期卒業論文題目一覧

　　　　　第114期卒業論文講評(宮下誠)

第３１号　2006（１６頁）

　　　　　神川正彦(教員)　　　 　            　 クｫｰタリｰリサｰチレホﾟｰトの刊行とその後

　　　　　外岡千代子(88期)　　           　 　 「校正」あれこれ

　　　　　小板橋淳(99期）　　　 　           　　遠く離れて－二年越しの宿題－

　　　　　清田茂(101期)　　　　 　           　　いい仕事をするために

　　　　　深井龍弥(111期)　　　 　          　　たまねぎの残骸

　　　　　近況報告

　　　　　ホームページのご案内

第３０号　2005（１６頁）

　　　　　木原志乃(教員)　　　 　           　　「ソクラテス以前」研究の方法論

　　　　　稲熊均(90期)　　　　 　              　「うそ」に潜んだ思い出

　　　　　久高将晃(104期）　　 　             　アーヘン留学記

　　　　　興津香織(108期)　　　 　           　インド哲学と江戸時代の微妙な関係

　　　　　第113期卒業論文題目一覧

　　　　　哲学会賞受賞論文要旨

　　　　　第113期卒業論文講評(千田義光)

　　　　　101期会員からのお知らせ(齋藤滋)

第２９号　2005（１２頁）

　　　　　東千尋(教員)　　　　　　　　　　　　　　心に浮かぶよしなしごと、或いはあの頃の哲学科のこと

　　　　　清水尊(81期)　　　　 　　           　　「生」でも「死」でもない「脳死」というもの

　　　　　金姈兒(112期)　　　 　　　          　　私からみた韓国人と日本人の違い

　　　　　江波久子(3年)　　 　　 　           　　前略　耐子様

　　　　　近況報告

　　　　　研究室から(谷川渥)

　　　　　退任の弁(東千尋)

第２８号　2004（１６頁）

　　　　　東千尋(教員)　                　　 　　徒然なるままに・・・

　　　　　磯﨑満(82期)　　 　                　　「哲学科で学んだこと」

　　　　　斉藤潤子(85期)  　                　　『雪駄とスニーカー』

　　　　　齋藤滋(101期)　 　                 　　仏教学の扉

　　　　　第112期卒業論文題目一覧

　　　　　哲学会賞受賞論文要旨

　　　　  第112期卒業論文講評(谷川渥)

第２７号　2004（１２頁）

　　　　　青山賢治(80期)　　 　　　　　      　　書籍の価格について

　　　　　入江英弥(91期)　　 　　　　　 　   　　師

　　　　　山本昭弘(98期)　　 　　　　　 　   　　『写真とコミュニケーションと私』

　　　　　閔愛善(111期)　 　　　　　 　　    　　日本の美意識を巡って

　　　　　近況報告

　　　　　研究室から(宮下誠・宮元啓一・粟田義彦)

第２６号　2003（２０頁）

　　　　　清水尊(81期)　　 　　　　　 　      　　仕事を通じて感じていること－日本の医療行政

　　　　　須藤典子(91期) 　 　               　　時計はどうして１２なの

　　　　　諏訪哲史(100期)　 　              　　「若きスノッブたち」

　　　　　宮尾一憲（111期)　 　              　　逃げ道のない哲学への道へ

　　　　　第111期卒業論文題目一覧

　　　　　哲学会賞受賞論文要旨

　　　　　第111期卒業論文講評(東千尋)

第２５号　2003（１２頁）

　　　　　鎗田清太郎(57期) 　　　　　　　　 　　丸山薫賞受賞の記

　　　　　来田武(78期)　 　　　　　　　　　   　　第４回世界マスターズ柔道選手権大会(73㎏）に優勝して

　　　　　宇野彰人(85期) 　　　　　　　　    　　「秋葉原電気街」で学ぶ

　　　　　島山みつ(93期) 　　　　　　　　     　　「仕事を始めて」

　　　　　近況報告

　　　　　研究室から(粟田義彦)

第２４号　2002（１６頁）

　　　　　中野好之(教員) 　  　　　　　　　   　　一昔前の大学キャンパス

　　　　　国分せつ子(81期)　     　　　　　　 　　ヨーロッパの無力・日本の無力

　　　　　森隆暁(81期)　　 　　　   　　　　　 　　死の静謐

　　　　　上野里美(96期)　　 　　　  　　　　 　　壊れたスクーター

　　　　　第110期卒業論文題目一覧

　　　　　哲学会賞受賞論文要旨

　　　　　第110期卒業論文講評(東千尋)

第２３号　2002（１２頁）

　　　　　鎗田清太郎(57期) 　　　　　　      　　哲学科の思い出

　　　　　遠藤利国(81期) 　　　　　　　       　　『極東国際軍事裁判速記録』を読んで

　　　　　荒井剛志(94期)　 　　　　　　　     　　中年クライマーの冬の一日

　　　　　久高 將晃(104期) 　　　　　　       　 私の哲学の原点

　　　　　近況報告

第２２号　2001（１６頁）

　　　　　矢島杜夫(79期) 　　　　　　　      　　「中流」は崩壊したか？

　　　　　須川純子(84期) 　　　　　　 　     　　あの中庭のベンチから

　　　　　福山貴之(94期) 　　　　　　       　　 「地図で登る山」

　　　　　奥野要助(103期) 　　　　　　　    　　 利便性の代償とは・・・

　　　　　第109期卒業論文題目一覧

　　　　　哲学会賞受賞論文要旨

　　　　　第109期卒業論文講評（粟田義彦）

第２１号　2001（１６頁）

　　　　　湯本良和(76期) 　　　　　　　      　　不易－三月二十日のこと『昭和四十三年三月二十日』

　　　　　西沢稔(85期) 　　　　　　　         　　教師生活の報告

　　　　　鈴木延人(95期) 　　　　　　　      　　『二十一世紀の教育に向けて』

　　　　　神田啓子(97期) 　　　　　　        　　最近の事とか、仕事のこととか

　　　　　大野真紀子(101期) 　　　　　　   　　「旅のすすめ」

　　　　　近況報告

第２０号　2000（２２頁）

　　　　　宮下誠(教員)　 　　　　　　　       　　分析・解体・復讐－クレンヘﾟラｰ晩年のテンホﾟを巡って－

　　　　　土岐泰広(93期)　 　　　　 　       　　東京は、遠くに居りて想うもの

　　　　　須佐俊吾(99期) 　　　　 　         　　ギリシャは猫が多かった

　　　　　鶴巻祐司(102期) 　　　　 　　      　  文章が溢れている。関心はある。さて格闘しているか。

　　　　　徐清(3年)  　　　　　　　　　         　　春

　　　　　第108期卒業論文題目一覧

　　　　　哲学会賞受賞論文要旨

　　　　　第108期卒業論文講評(谷川渥)

第１９号　2000（１２頁）

　　　　　神川正彦(教員)　 　　　　　　      　　國學院において四分の一世紀の時をすごした終わりに

　　　　　矢島杜夫(79期) 　　　　　　         　　「過信」について

　　　　　庭山昤子(79期) 　　　　　　        　　スペイン駆けある記

　　　　　我妻清治(93期) 　　　　　　        　　近頃の遊び場

　　　　　近況報告

第１８号　1999（２０頁）

　　　　　今井淳(教員) 　　　　　　　        　　 「美しい仮象」の復権から「哲学」へ

　　　　　中野幸次(59期)　 　　　　　　     　　 あるべきはずの自己と現実

　　　　　林邉智(66期) 　　　　　　　        　　 哲学の効用

　　　　　岩波薫(93期) 　　　　　　　        　　 －水俣展再考－

　　　　　第107期卒業論文題目一覧

　　　　　哲学会賞受賞論文要旨

　　　　　第107期卒業論文講評(千田義光)
　　　　　東千尋(教員)　 　　　　　 　　     　　 今井先生のこと、中野先生のこと

第１７号　1999（１２頁）

　　　　　矢島杜夫(79期) 　 　　　　　　　  　　　「最近の教育に想う」

　　　　　大瀧信子(3年)　 　 　　　　　　　  　　　谷戸に暮らす

　　　　　蓑京子(105期) 　　　　　　　　    　　　イタリア人の芸術観

　　　　　宮元啓一(教員)　　 　　　　　　　 　　　わが国の仏教学研究雑感

　　　　　近況報告

第１６号　1998（２０頁）

　　　　　平井武夫(59期)　　 　　　　　　　  　　 昭和二十年代前半の哲学科

　　　　　粟田義彦(教員)　　　　　　　　　　 　　 ふたつの人間生命観と人間の本質

　　　　　松尾順子(76期)　 　　　　　　　    　　 儀式は狭い和ではなくインターナショナルである

　　　　　小本利明(104期) 　　　　　　　     　　『私の弁神論』

　　　　　黄鎔淳(4年)　 　　　　　　　　　     　　心地よい積極的な時間

　　　　　第106期卒業論文題目一覧

　　　　　哲学会賞受賞論文要旨

　　　　　第106期卒業論文講評(谷川渥)

第１５号　1997（１６頁）

　　　　　松永一彌(67期)　 　　　　　　　      　　「老い散々」

　　　　　棚沢幹夫(81期) 　　　　　　　        　　「変わるということと変えるということ」

　　　　　後藤真一(94期) 　　　　　　　         　  風の憧憬

　　　　　神谷友紀子(101期)　　　　　　　　　 　　哲学者との奇妙な生活

　　　　　第105期卒業論文題目一覧

　　　　　哲学会賞受賞論文要旨

　　　　　第105期卒業論文講評(谷川渥)

第１４号　1996（１６頁）

　　　　　工藤時男(68期) 　　　　　　 　            教育雑感

　　　　　松下雅由(87期)　　　 　　　　　　   　 　 一会一生

　　　　　牧野真理(97期) 　　　　　　　             ダムを見に行く日もあります

　　　　　坂口正治(102期) 　　　　　　　           キャンパスの青い空

　　　　　第104期卒業論文題目一覧

　　　　　哲学会賞受賞論文要旨

　　　　　第104期卒業論文講評(宮元啓一)

第１３号　1995(１６頁）

　　　　　本間充(72期)　　　 　　　　　　　　    　　札幌のひと

　　　　　上田浩史(89期) 　　　　　　         　　　「近頃　思うこと」

　　　　　牧田恵美(97期) 　 　　　　　　　      　　『グランブルーワールド』

　　　　　崔紅国(4年) 　　 　　　　　　　　      　　私と日本語

　　　　　第103期卒業論文題目一覧

　　　　　哲学会賞受賞論文要旨

　　　　　第103期卒業論文講評(神川正彦)

第１２号　1994(２０頁）

　　　　　加藤求二(67期)　    　　　　　　　　　　　私の有と時

　　　　　遠藤利国(81期) 　　         　　　　　　　時はめぐる

　　　　　横山桜子(87期)　　　　　　　    　　　　　手で考える　1)　印判の器

　　　　　大川原冬樹(90期)　　　　　　　　     　　９４年　夏　序章

　　　　　キムヒｮントク(4年)　　　 　　　　　　　  　　ありがたい知人達

　　　　　第102期卒業論文題目一覧

　　　　　哲学会賞受賞論文要旨

　　　　　第102期卒業論文講評(千田義光)

第１１号　1994(１６頁)

　　　　　大澤新一(59期)　　　　　　　　　　   　　楝点描

　　　　　宮入博之(69期)　　　　　　　　　　   　　生きるということは

　　　　　藤本幸男(83期)　　　　　　　　　　   　　システムを飛び出す

　　      有吉みゆき(92期)　　　　　　　　　    　　帰らぬ日・雑感

　      　杉渕武徳(95期)　　　　　　　　　　   　　表現としての「傑」

　　      村上麻紀(101期)　　 　　　　　　　  　　ダイヤリーとギリシャ悲劇

　　      深澤健治(86期)　　　　　　　　　　   　　福祉の仕事を通して、２１世紀の社会を考える

第１０号　1993 (１６頁)

　　　　　桐山金吾(60期)　　　　　　　　　　   　　「学際的」について

　　　　　鎌田東二(83期)                　　　 　　デルフォイと哲学

　　　　　小山内るみ(86期) 　　                　　私事戯言

          宮崎俊夫(96期)　　　                 　　味噌汁の湯気越しに日本が見える

          度会恭子(98期)　 　                  　　マタニティライフと私

　　　　　第101期卒業論文題目一覧

　　　　　哲学会賞受賞論文要旨

　　      第101期卒業論文講評(千田義光)

第９号　　1993（１６頁）

　　　　　谷口紀昭(66期)　　　　　　　　　     　　外れ者の「今昔の思い」

　　　　　内山貴(67期)　　　　　　　　　　      　　身辺雑記

　　　　　太田征紀(89期)　　　　　     　　　　　　「精神病者」から「精神障害者」への序章

　　　　　丹波尚子(92期)　      　　　　　　　 　　「母の死に思う」

　　　　　金子昭夫(100期)  　　　　　　　     　　「誰もが知っていること」

　　　　　土淵眞佐子(85期)　                  　　詩三篇

　　　　　谷川渥(教員)　　                      　　人と作品

　　　　　哲学会規約

　　　　　編集後記(千田)

第８号　　1992（１６頁）

　　　　　豊田好實(60期)　　                   　　山田統先生と序文

　　　　　小沢千代子(69期)　　                　　Ｂ．ラッセル周辺

　　　　　須川努(84期)　　                      　　歯との格闘

　　　　　大場豊聡(93期) 　　                  　　NYのインヘﾞストメントハﾞンクの支店から

　　　　　第100期卒業論文題目一覧

　　　　　哲学会賞受賞論文要旨

　　　　　第100期卒業論文講評(神川雅彦)

　　　　　編集後記(佐藤)

第７号　　1991（１２頁）

　　　　　鶴田邦夫(66期)　　　 　　　　　　    　　会報刊行への提言

　　　　　粟田義彦(78期)　　 　　　　　　　    　　推理小説と綜合判断そして論文

　　　　　戸田善育(87期) 　　　　　　　　　    　　世界動向と日本宗教

　　　　　須藤典子(91期) 　　　　　　　　　    　　現象学的子育て論 （その二）

　　　　　村松充(99期) 　　　　　     　　　　　　　沖縄の夏

　　　　　哲学会規約

　　　　　編集後記(東)

第６号　　1991（２０頁）

　　　　　末富明子(62期)　 　　　　　　　　     　　鳥と

　　　　　大浜信宏(87期) 　 　　　　　　　　    　　ゴミ・中退・校門圧死（II）

　　　　　宇野彰人(85期)　 　　　　　　　       　　忘れられない人々

　　　　　境寛子(92期)　 　                      　　ナイロビ子育て体験記

　　　　　望月昭弘(94期)　　                    　　中国の列車において

　　　　　岡山恵子(97期)　　                   　　 演劇記者になりました

　　　　　第99期卒業論文題目一覧

　　　　　哲学会賞受賞論文要旨

　　　　　第99期卒業論文講評(東千尋)

　　　　　編集後記(横木)

第５号　　1990（１６頁）

　　　　　高坂均(86期)　　 　　　　　　　　     　　インタヴュー（横木氏担当）

　　　　　大浜信宏(87期)　 　　　　　　　　    　　ゴミ・中退・校門圧死

　　　　　酒井尚子(92期)　　 　　　　　　      　　二十九年めの私

　　　　　千田義光(教員) 　　　　　　　        　　東欧を旅して

　　　　　遠藤利国(81期)     　　　　　　　　　　　『博物館のレトリｯク』書評

　　　　　哲学会賞規程

　　　　　編集後記(土橋)

第４号　　1990（１６頁）
　　　　　大友務(77期) 　　　　　　　　　        　　待ってください

　　　　　横木徳久(89期)                        　　近況

　　　　　須藤典子(91期)                        　　現象学的子育て論

　　　　　内澤淳子(97期)                        　　無題

　　　　　浅野耕一郎(97期)                     　　内定がなんだってんだ

　　　　　宮元啓一(教員) 　                     　　卒業論文に思う

　　　　　第98期卒業論文題目一覧

第３号　　1989（１６頁）

　　　　　井上智行(58期)                        　　窮通理

　　　　　国分せつ子(81期)                      　　ドイツからの手紙

　　　　　浅沼周(82期)                        　 　　『昭和六十三年』

　　　　　鈴木正樹(91期)                        　　「哲学って何？」

　　　　　神川正彦(教員)                        　　時に百年前を想起する

　　　　　第97期卒業論文題目一覧

第２号　　1988 （１６頁）

　　　　　中野幸次(59期) 　　　　　　　　　    　　「制作の哲学」

　　　　　小沢千代子(69期) 　　　　　　　  　  　 「普通」の中に

　　　　　池田達彦(76期) 　                    　　中世への関心

　　　　　沼田一博（83期)                        　豊かさ－過剰と適正－

　　　　　土淵真佐子(85期)                    　　気がついたら神職に

　　　　　鈴木伸一(89期)                       　　当世俳句事情

　　　　　後藤雅彦(90期)                       　　社会適応について

　　　　　中野好之(教員)                       　　大学昨今

第１号 　 1987

　　　　　鎗田清太郎(57期)                    　　「氷河時代」とは何か―言葉の「意味」の動態について

　　　　　吉永吉治(59期)　　　　　　　　　　　 　　哲学科に学んで

　　　　　林邉智(66期)　　　　　　　　　　　　　　　哲学その後

　　　　　藤井新右(74期) 　　　　　　　　　　　　　声なき声

　　　　　越前谷悦子(76期) 　　　　　　　　　 　　哲学と私

　　　　　高野正史(81期) 　 　　　　　　　　　 　　哲学会を喜ぶ

　　　　　金城倫明(88期)　　　　　　　　　　　　　”七年も過ぎたのか”

　　　　　高梨晃弘(93期) 　　　　　　　　　　　　　北の大地の学校にて

　　　　　東千尋(67期) 　　　　　　　　　　　　 　　ギリシャで暮して―アゴラのこと―